



Akamai は、米国内の 1,000 人を超える消費者を対象に、データのプライバシーとセキュリティの問題に関する調査を実施しました。調査の結果、消費者は依然としてブランドを信頼していますが、データの管理を強化したいと考えていることがわかりました。

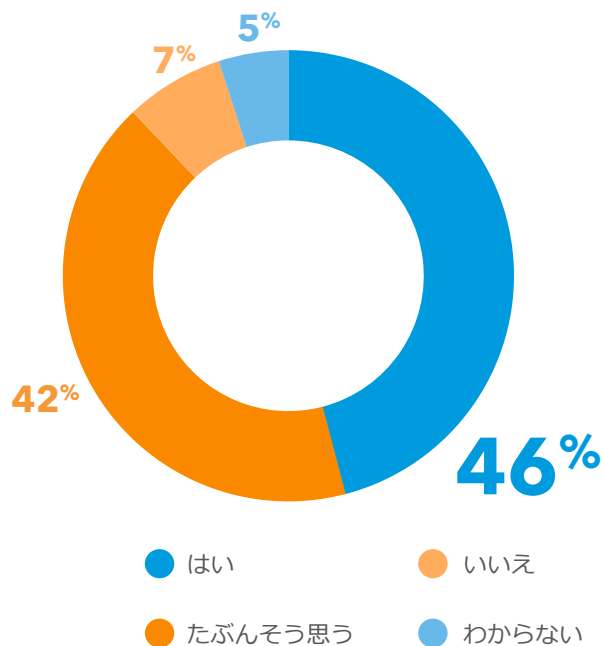
Akamai の最新の調査結果によれば、データ漏えいや論議が生じているにもかかわらず、企業が誠意を示している限り、米国の消費者は驚くほど寛大であることがわかりました。消費者は全般的に依然としてブランドを信頼していますが、最近多発しているデータ漏えいやデータのプライバシーに関する論議を受けて、同意に基づく関係を歓迎する傾向にあります。

調査回答者の半数近く（46%）は、攻撃に関する情報が速やかに通知され、企業の対応方法に関する情報が共有される限り、ブランドのデータ漏えいは仕方のないものとして受け止める意思があると回答しました。その一方で、攻撃者から個人情報を守ることはできなかったブランドを許すことはできないと回答した人も少数（7%）いました。

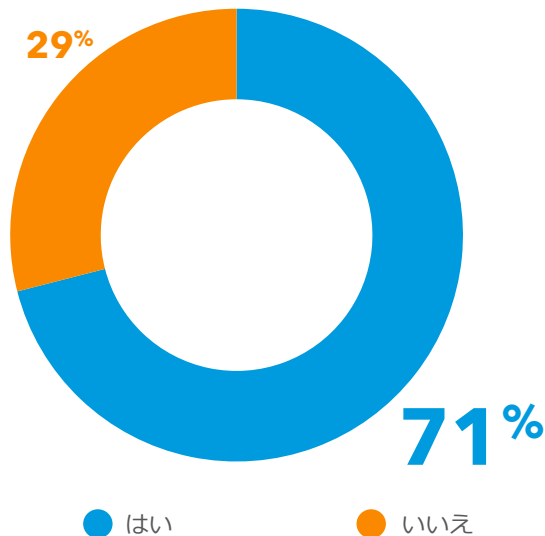
データ管理に関する規制や消費者からの要求を受けて同意に基づくマーケティングの準備が整いつつある

個人情報の管理を強化する消費者は、増加する傾向にあります。たとえば、回答者の 71% が、データプライバシーの保護やウェブ体験の管理に役立つソフトウェアをダウンロードしていると回答しています。Akamai の調査結果は、規制要件に応えるために、またはお客様との関係を強化するために、同意に基づくマーケティングプロセスや機能を整えているブランドにとっては、朗報となるものです。

データセキュリティの侵害を受けた企業が、攻撃の事実と保護対策について即座に情報を開示してくれるのであれば、その企業を許してもいいと思いますか？



現在、広告のブロック、データプライバシーの保護、ウェブ体験の管理に役立つソフトウェアを使用していますか？



選択の余地がある場合、多くの人（55%）は、信頼している会社が、自分にとって明らかにメリットとなる用途で使用する限りは、一部の個人情報の使用を認めてもいいと考えています。企業による個人情報の使用を認めるつもりがない人は36%に過ぎません。

さらに、66%の人は、興味がなくなったときに情報の受け取りを中止できるのであれば、自分が特定の物事に興味があることを企業に知らせて、情報を受け取ってもいいと考えています。あとで受信を拒否できるとしても、企業からの情報提供を受けたくはないと答えた人は、16%にとどまりました。

消費者データによるオンライン広告のパーソナライズがどの程度の効果を上げているかを確認した質問に対しては、オンライン広告が自分の欲しいものを示してくれているように感じるものが「頻繁にある」と答えた人はわずか18%であり、大いに改善の余地が残されていることが示されました。回答者の半数近く（47%）が、個人的なニーズを理解していると思われるような広告を目にすることが「時々ある」と回答した一方、「めったにない」と回答した人も26%いました。「一度もない」と回答した人は、9%にとどまっています。

取引にあたって、個人情報（電話番号やメールアドレスなど）の提供を事前に求めてくる企業と距離を置くかどうかという質問に対しては、54%の人は信頼できるビジネスかどうか、または選択の余地があるかどうかによると回答した一方で、15%の人が「距離を置く」、24%が「たぶん距離を置く」と答えました。

消費者はデータ保護の観点から政府、ブランド、自分自身を重視している

調査対象者の過半数（66%）が、個人情報のプライバシー、セキュリティ、管理に関する消費者の権限強化をブランドに義務付けるGDPRのような規則が米国で新たに制定されることを求めると回答しました。

今回の調査結果から、消費者は規制の強化を求めているだけではなく、大規模なデータ漏えい事件や論議が起こっている今だからこそ、こうした対策が功を奏すると考えていることがわかります。そのような法律には効果がないと考えている人は少数（9%）で、規制の強化が企業や経済に悪影響を及ぼすと答えた人は（6%）でした。ただし、多くの人（44%）は、データセキュリティを達成するためには、消費者、企業、政府が協力して対応していく必要があると考えています。

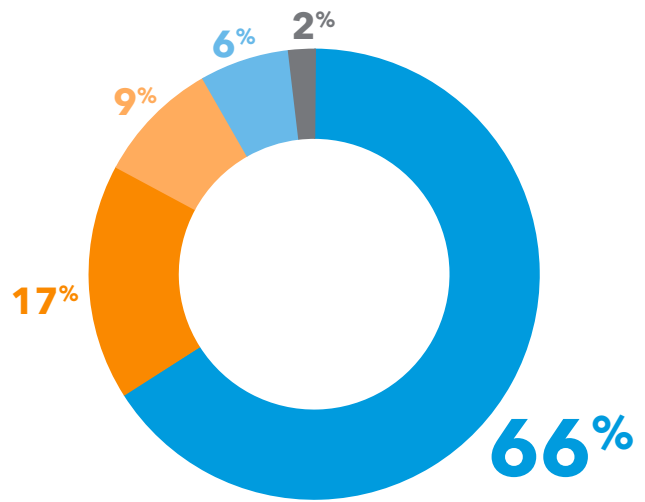
個人情報の重要性について聞いたところ、当然のことながら、大半の回答者（44%）はあらゆる個人情報の中でも財務情報の保護に最も懸念を抱いていると答えました。

回答者の4分の1は、パスワード保護の重要性を理解し、堅固なパスワード管理を最大の関心事に挙げています。ただし、12%の人は、ハッカーはいずれにしろ企業のネットワークに侵入できるものだと思っているので、コンピューターやモバイルのセキュリティについては心配しても仕方がないと回答しています。

結論

環境が急速に変化する今日、デジタル・ビジネス・チームはセキュリティ、プライバシー、コンプライアンスを保証する必要がある一方で、お客様を維持し、信頼関係を築くためには、オンライン利用者の求めるストレスのないアクセスを提供しなければなりません。しかし、消費者重視の業界では、便利なリアルタイムアクセスを提供しながら、個人情報の保護と管理を行うのはなかなか困難なことです。

2018年5月、ヨーロッパでは新しい規則が施行され、個人情報のプライバシー、セキュリティ、管理に関する消費者の権限を強化することが、企業に義務付けられました。このことについて、どう思いますか？



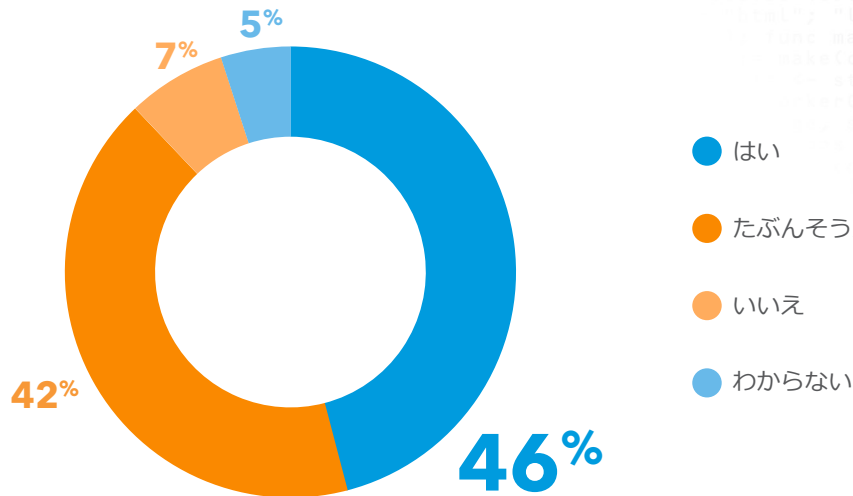
- このような法律を制定する政府が増えるべきだ
- このような法律は企業にとって厳しすぎるし、経済が悪化する可能性がある
- わからない
- この中にはない
- このような法律は何の役にも立たない



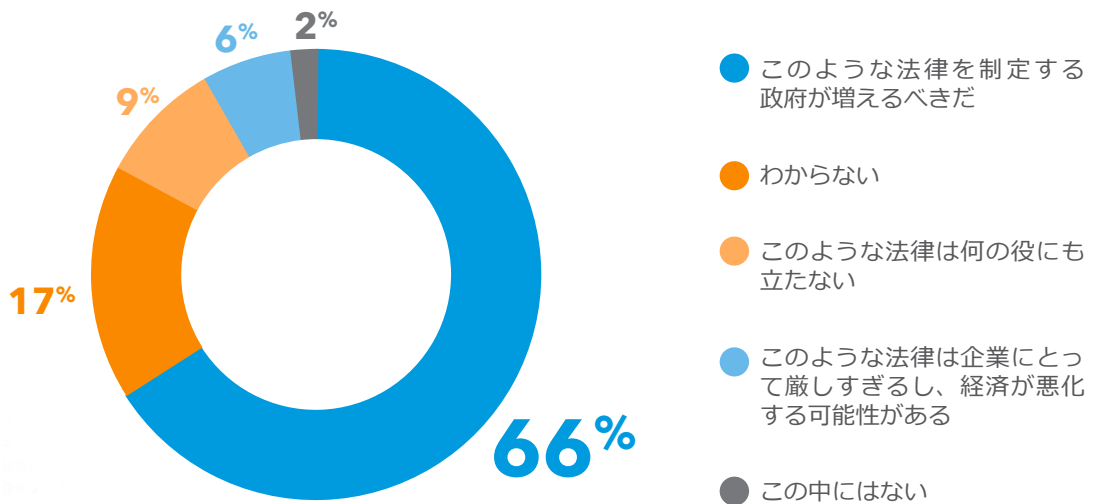
Akamai Identity Cloud について詳しくは、akamai.com/identitycloud をご覧ください。

調査結果の一覧

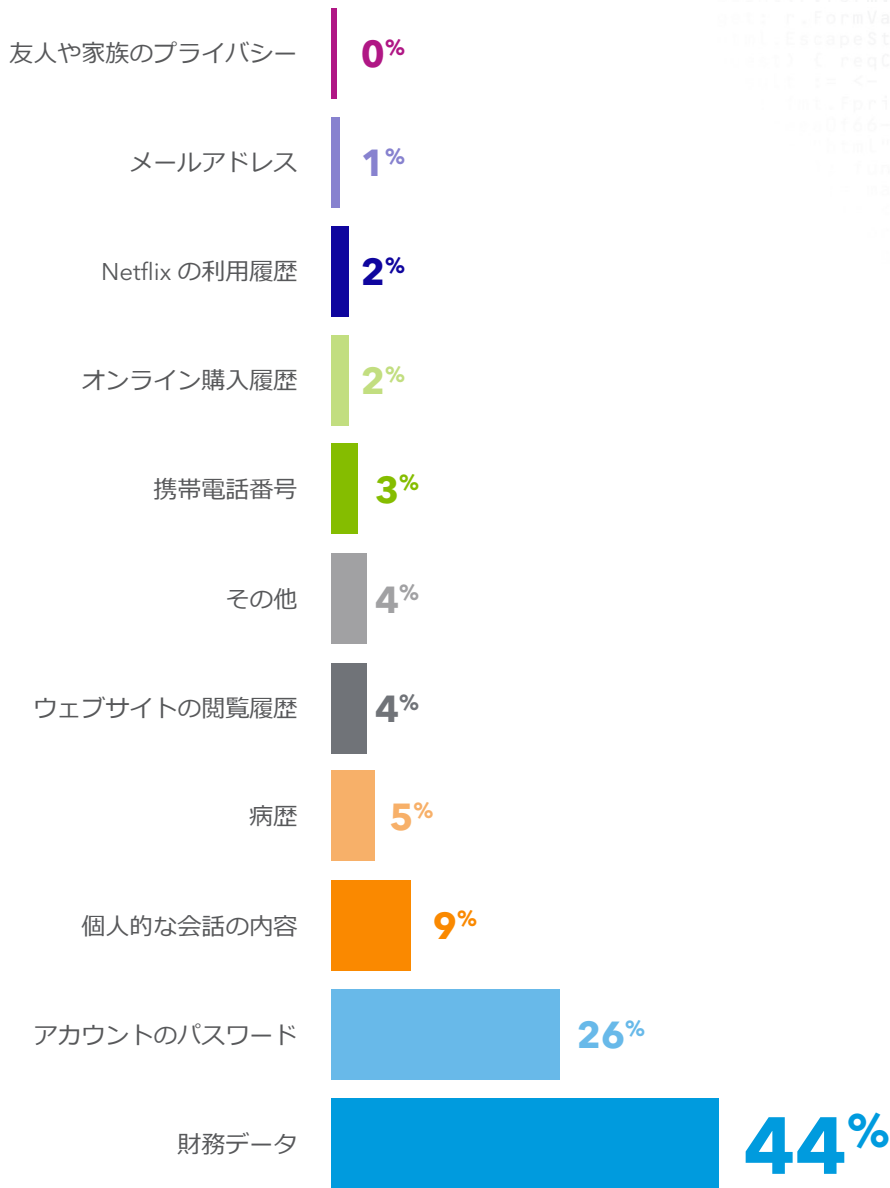
データセキュリティの侵害を受けた企業が、攻撃の事実と保護対策について即座に情報を開示してくれるのであれば、その企業を許してもいいと思いますか？



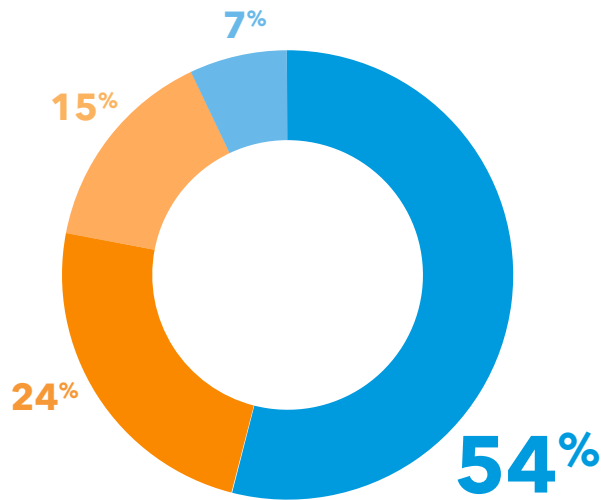
2018年5月、ヨーロッパでは新しい規則が施行され、個人情報のプライバシー、セキュリティ、管理に関する消費者の権限を強化することが、企業に義務付けられました。このことについて、どう思いますか？



データの保護/プライバシーについて特に気にならないのは、次のうちの個人情報ですか？

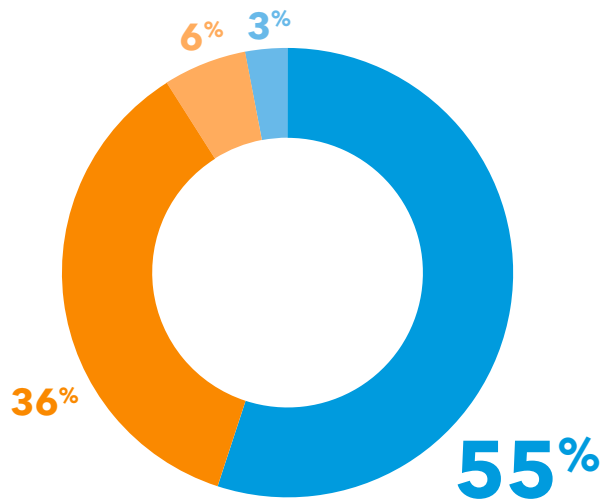


取引にあたって、個人情報（電話番号やメールアドレスなど）の提供を求めてくる企業と距離を置く可能性はどのくらいありますか？



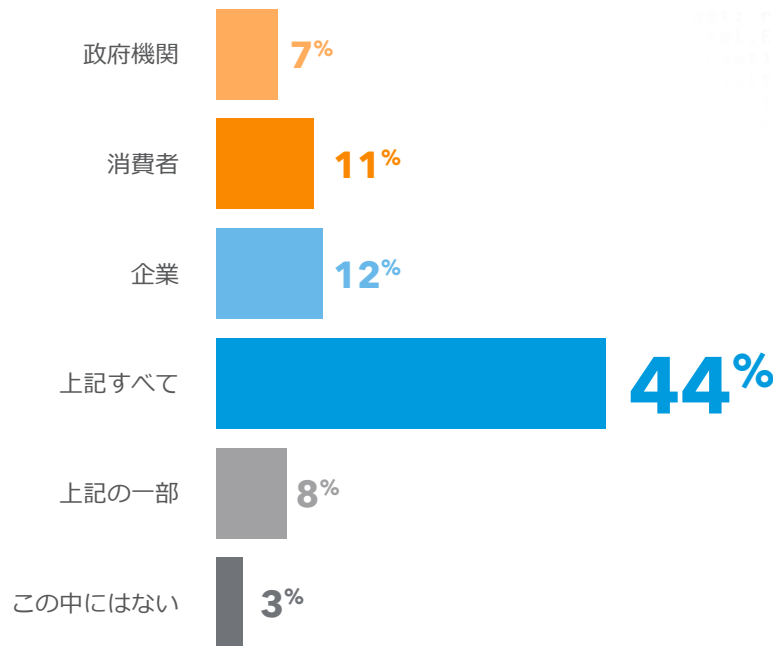
- 信頼できる企業かどうか、選択の余地があるかどうかによる
- 可能性が高い
- 必ずそうする
- 可能性は低い

企業があなたの個人情報をどう使用するかを決めることができるとしたら、どうしたいですか？

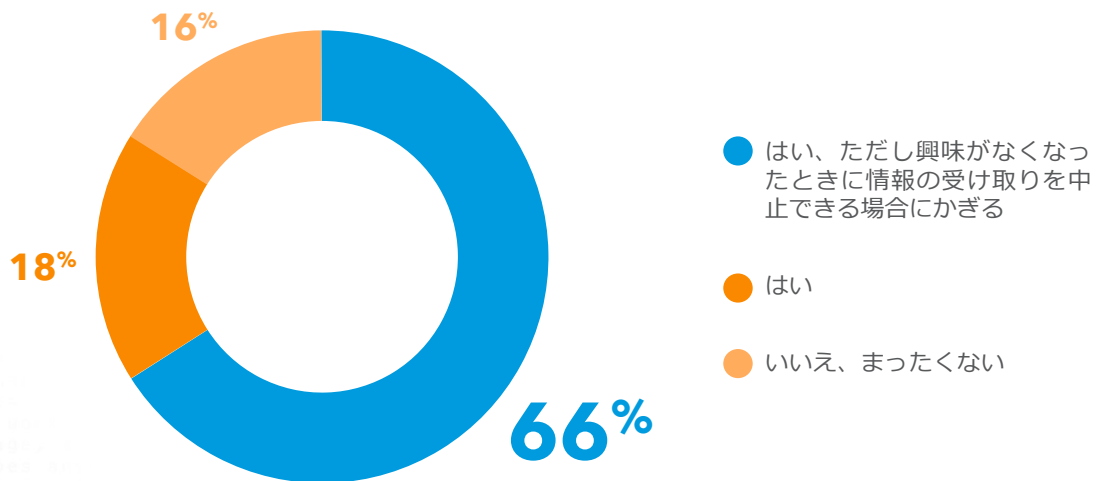


- 信頼している会社が、自分にとって明らかにメリットとなる用途で使用するためであれば、一部の個人情報の使用を認める
- どの会社であっても個人情報を使用することは認めない
- わからない
- 信頼している会社であれば、さらに快適なユーザー体験を提供してもらうために、すべての個人情報の使用を認める

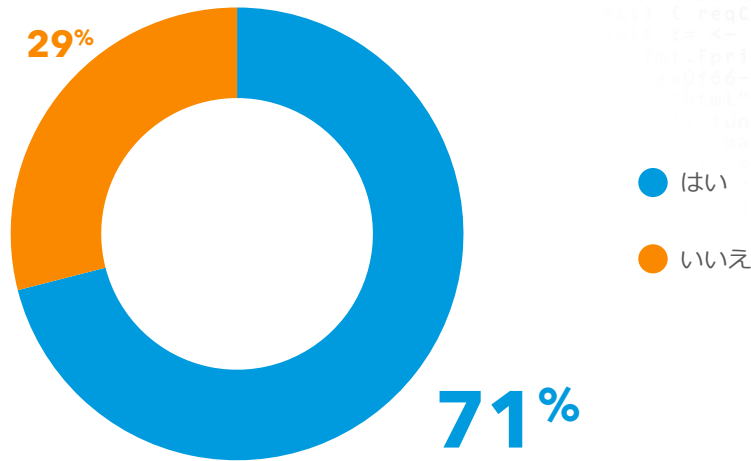
個人情報の保護に最も責任があるのは、誰だと思いますか？



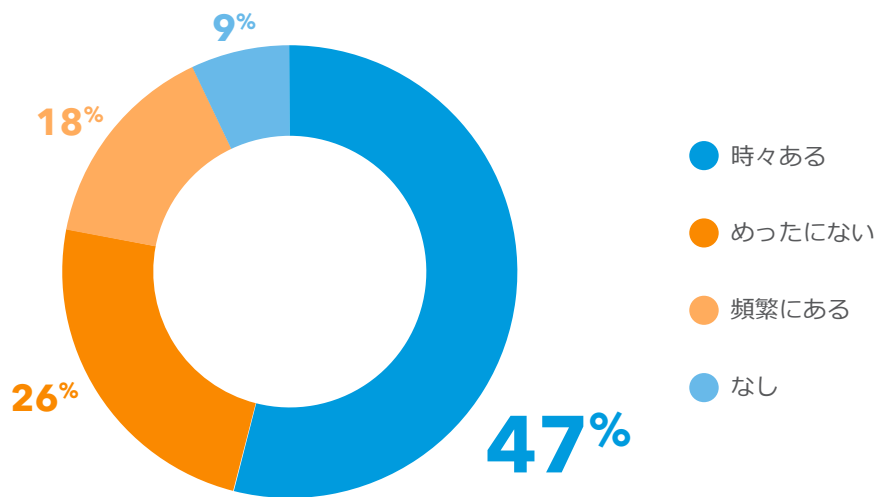
特定の製品に興味があることを企業に知らせることで、有益な情報が得られるのであれば、そうしたサービスを利用したいと思いますか？



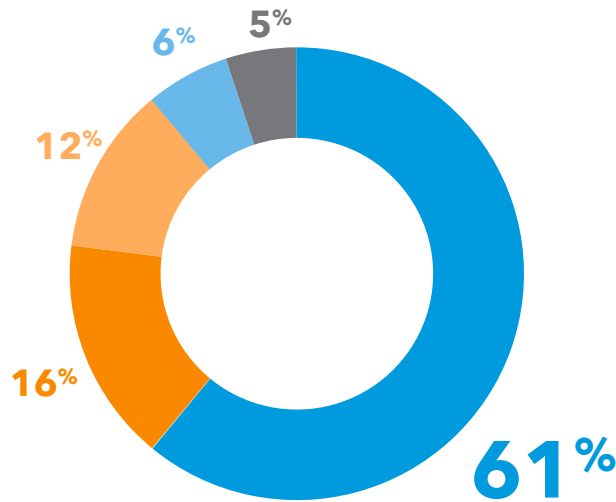
現在、広告のブロック、データプライバシーの保護、ウェブ体験の管理に役立つソフトウェアを使用していますか？



オンライン広告が自分の欲しいものを提示しているように思えることは、どのくらいありますか？



次のうち最も当てはまるのはどれですか？



- コンピューターやモバイルのセキュリティについては十分に注意している
- 時間がないので、コンピューターやモバイルのセキュリティについてはそれほど注意していない
- ハッカーはいずれにしろ企業のネットワークに侵入できるものだと思っているので、コンピューターやモバイルのセキュリティについてはそれほど注意していない
- なし
- その他

米国内住の 18 歳以上の参加者 1,079 名を対象に 2018 年 8 月にオンラインで実施した Akamai のデータのプライバシーとセキュリティに対する消費者の意識調査（データベース管理者は Janrain）



世界最大、かつ最も信頼性の高いクラウド・デリバリー・プラットフォームを有する Akamai は、デバイスや場所に関係なく、最高、かつ最もセキュアなデジタル体験をお客様に提供します。Akamai のプラットフォームは、比類のないスケールで展開されており、お客様に優れたパフォーマンスとセキュリティを提供しています。ウェブ/モバイルパフォーマンス、クラウドセキュリティ、エンタープライズアクセス、ビデオデリバリーによって構成される Akamai のソリューションポートフォリオは、優れたカスタマーサービスと 365 日/24 時間体制のモニタリングによって支えられています。グローバルトップの金融機関、e コマース事業者、メディア・エンターテインメント企業、政府機関等が、Akamai を信頼する理由について、www.akamai.com/jp/ja/ または blogs.akamai.com/jp/ および Twitter の [@Akamai_jp](https://twitter.com/Akamai_jp) でご紹介しています。公開日：2019 年 4 月。